

2-1-1 教員の学位や業績

【体育学部】

体育学科	名前(読み)	辻 秀一 (つじ しゅういち)
	職 名	特任教授
	取得学位	
	専門分野 研究領域	スポーツ科学、スポーツ医科学、応用健康科学
	担当授業	
	研究業績	<p>著書</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 「コーチングの心理 Q&A」 共著 平成 10 年 2. 『スラムダンク勝利学』 単著 平成 12 年 3. 『PLAY LIFE PLAY SPORTS』 単著 平成 29 年 3 月 4. 『メンタルトレーナーが教える子どもが伸びるスポーツの声かけ』 単著 平成 29 年 5. 『先生の“ごきげん思考”で、授業はうまくいく!』 単著 平成 30 年 <p>論文</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 「スポーツとビタミン・ミネラル」 単著 臨床栄養 vol. 78No. 1p46-52 1991 2. 「三次元動作分析 (APAS) を用いたレスリングの技術分析」—後ろ反り投げに至るリフティング 共著 日本体育協会スポーツ医・科学研究報告 No. II 競技種目別競技向上に関する研究 1991 3. 「運動と骨粗鬆症 Exercise and Osteoporosis」 共著 1992 年度慶應義塾大学スポーツ医学研究センター紀要 p39-60 4. 「球技スポーツ選手の運動能力評価—バスケットボール選手の運動負荷に対する乳酸反応性の解析—」 共著 慶應義塾大学スポーツ医科学研究センター紀要 1993 5. 「身体活動と骨粗鬆症」 単著 病態生理 vol. 14 No. 6 p461-473 1995 6. 「女性スポーツの魅力とその医学的問題」 単著 慶應義塾女子高等学校研究紀要 第 14 号 p41-63 1996 7. 「Effects of 3 months of non-weight-bearing cycle ergometric exercise on bone metabolism」 (骨代謝に及ぼす 3 ヶ月間の非体重サイクルエラメトリック運動の影響) 共著 Journal of Bone and Mineral Metabolism Volume14 p21-55 1995 8. 「スポーツ医科学からみる骨粗鬆症」 共著 臨床スポーツ医学第 13 巻 第 8 号 p149-154 1996 9. 「骨にかかるメカニカルストレスの変化—少なすぎる：骨粗鬆症—」 共著 Japanese Journal of SPORTS SCIENCES 第 16 巻第 1 号 P85-89 1997 10. 「更年期女性における運動処方ターゲットと骨密度の位置づけ—QOL を見据えた考え—」 単著 臨床スポーツ医学第 15 巻第 7 号 p741-745 1998 11. 「Period of adolescence during which exercise maximizes bone mass in young women」 (健康な若い日本人女性における骨量の遺伝的分布と関係する HLA-A * 24-B * 07-DRB1 * 01 ハプロタイプ) 共著 Human Immunology59 p243-249 1998
	所属学会 学会活動	日本臨床スポーツ医学学会、日本スポーツ精神学会、日本スポーツ心理学会
社会貢献	ホワイト企業大賞選考委員、岐阜県群上八幡氏スポーツアドバイザー	